

尼崎市地域交通政策審議会
第1回部会 資料第1号
平成28年7月8日

尼崎市地域交通政策審議会 第1回 部会資料

平成28年7月8日(金)



- 目 次 -

尼崎市地域交通政策策定に向けた検討テーマ	1
テーマ1：子育て世帯の定住促進	2
(1) 子育て世帯の現状	3
(2) パーソントリップ調査結果からみる子育て世代の移動特性	5
(3) 子育て世帯の転入・定住促進に向けた交通政策の方向性	11
テーマ2：バスサービスの向上	12
(1) 路線バスの現状	13
(2) パーソントリップ調査結果からみるバス利用者特性	17
(3) バスサービスの向上に向けた交通政策の方向性	18
(4) バスサービスの利用促進に向けた取り組み	19
その他検討項目：観光	20
(1) 観光施設とアクセス状況	21
(2) 新たな観光拠点について	22
参考資料	23



尼崎市地域交通政策策定に向けた検討テーマ

テーマ1：子育て世帯の定住促進

尼崎市では、人口が減少傾向で推移しており、特に子育て世帯の転出超過が著しく、子育て世帯の転出超過が解消すれば、転入超過に転じる。

持続可能で活力あるまちづくりを進めるためには、「**子育て世帯の定住促進**」を**交通面から支援**することが求められる。

テーマ2：バスサービスの向上

尼崎市では、平成28年3月に市営バスが民営化されている。

路線バスは、誰もが利用できる交通手段として様々な役割を担っており、利用者が減少傾向にある中で、**路線バスサービスの向上**が求められる。

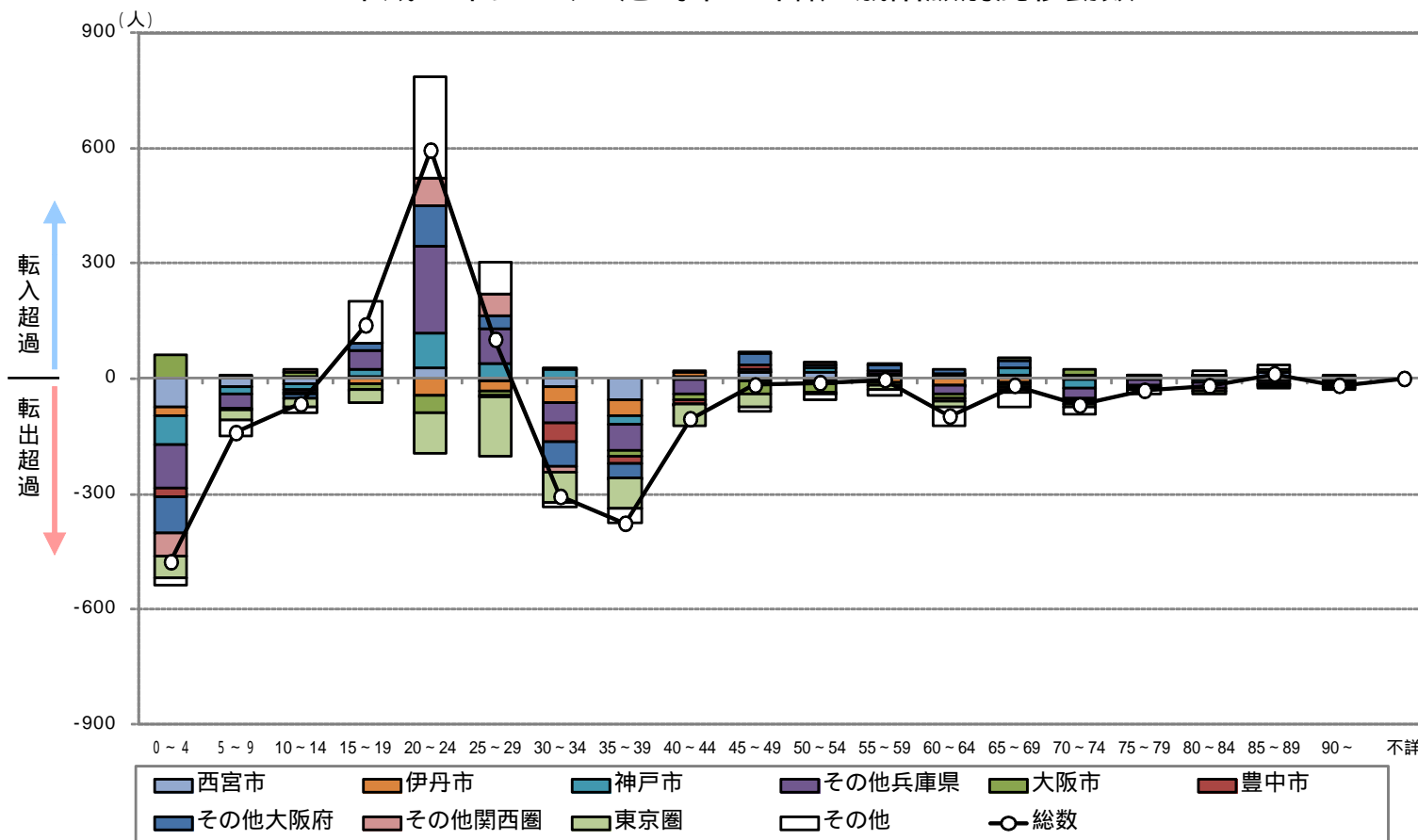
テーマ1:子育て世帯の定住促進

(1) 子育て世帯の現状

尼崎市の転入・転出状況

- 尼崎市では、子育て世帯の転出が超過している。
- 子育て世帯の転出超過が解消すれば市全体で転入超過になる。
- 転出先は近隣都市が多い。

< 平成25年における尼崎市の年齢5歳階級別純移動数 >



出典:総務省 住民基本台帳人口移動報告[尼崎市人口ビジョン(平成27年10月)より]

(1) 子育て世帯の現状

尼崎版総合戦略の考え方

- 総合戦略の基本目標は「ファミリー世帯の定住・転入を促進する」を掲げている。
- 数値目標として、“5歳未満の子どもがいる世帯の転出超過世帯数の半減”、“尼崎市のイメージがよくなったと回答した市民の割合の増加”を設定している。

「尼崎版総合戦略」の3つの基本目標 -持続可能なまちづくりに向けて-

- (1) ファミリー世帯の定住・転入を促進する
- (2) 経済の好循環と「しごと」の安定を目指す
- (3) 超高齢社会における安心な暮らしを確保する

【基本目標(1)の数値目標】

5歳未満の子どもがいる世帯の転出超過世帯数	(282世帯)	半減)
尼崎市のイメージがよくなったと回答した市民の割合	(34.8%)	50%)

・子育て世帯の定住・転入促進を図ることで、若年夫婦の人口の増加を図り、基本目標2「経済の好循環」や基本目標3「高齢者の安心」にも寄与できると考えられる。

(2) パーソントリップ調査結果からみる子育て世代の移動特性

移動目的及び移動手段

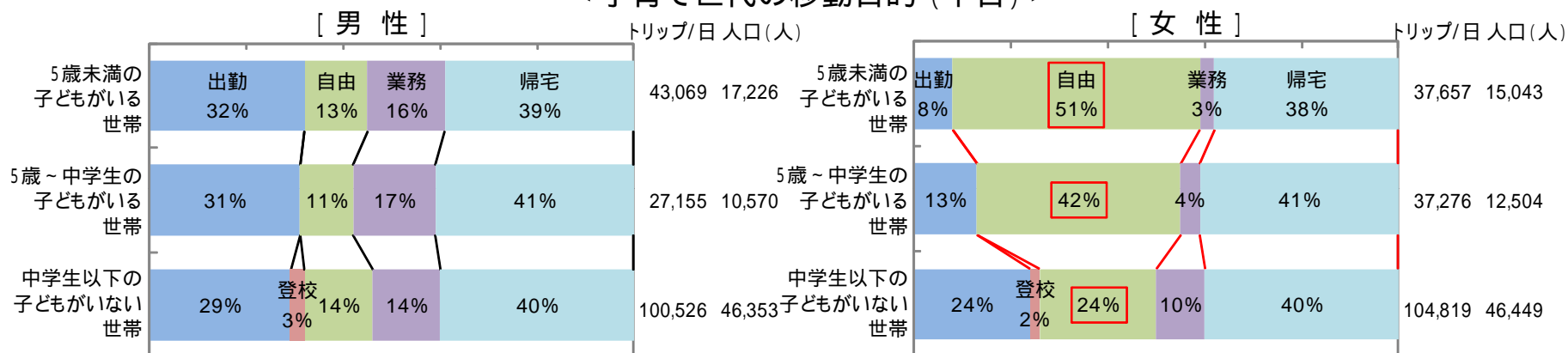
- 子育て世代の移動特性の違いは女性で顕著となっており、子育て世代の移動支援は、女性に着目して検討をすることが必要と考えられる。

子育て世代の定義：中学生以下の子どもがいる世帯の20～49歳の人

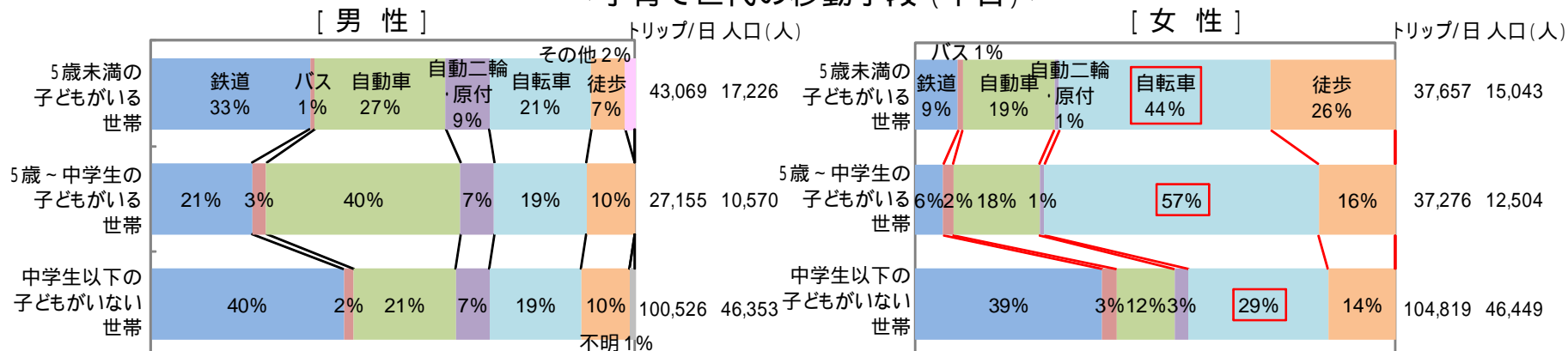
[参考]「尼崎市の住まいと暮らしに関するアンケート調査」での

子育てファミリー世帯：中学3年生以下の子どもを持つ世帯(妻の年齢20～49歳)

<子育て世代の移動目的(平日)>



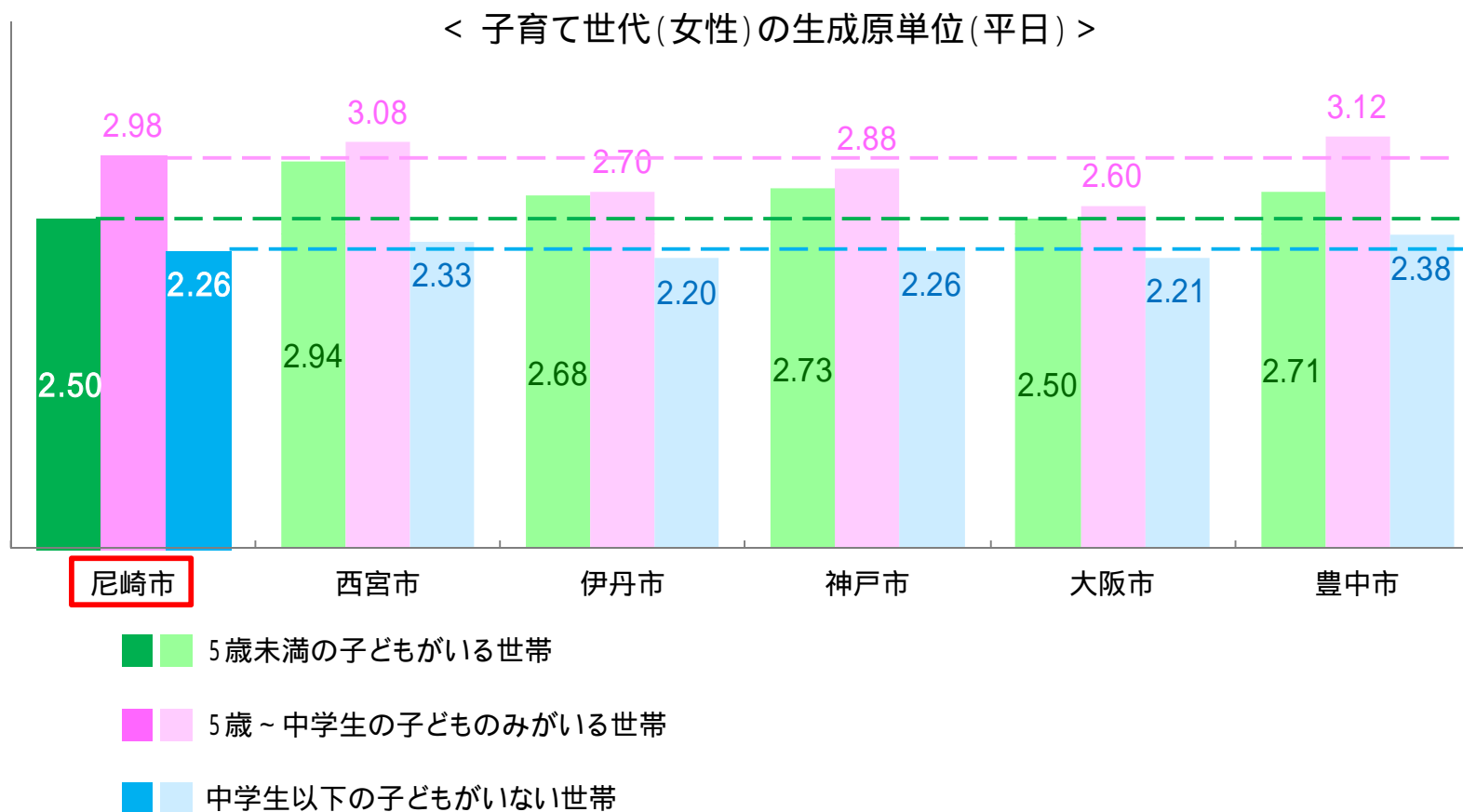
<子育て世代の移動手段(平日)>



(2) パーソントリップ調査結果からみる子育て世代の移動特性

生成原単位(1人当たりの移動回数)の近隣市との比較

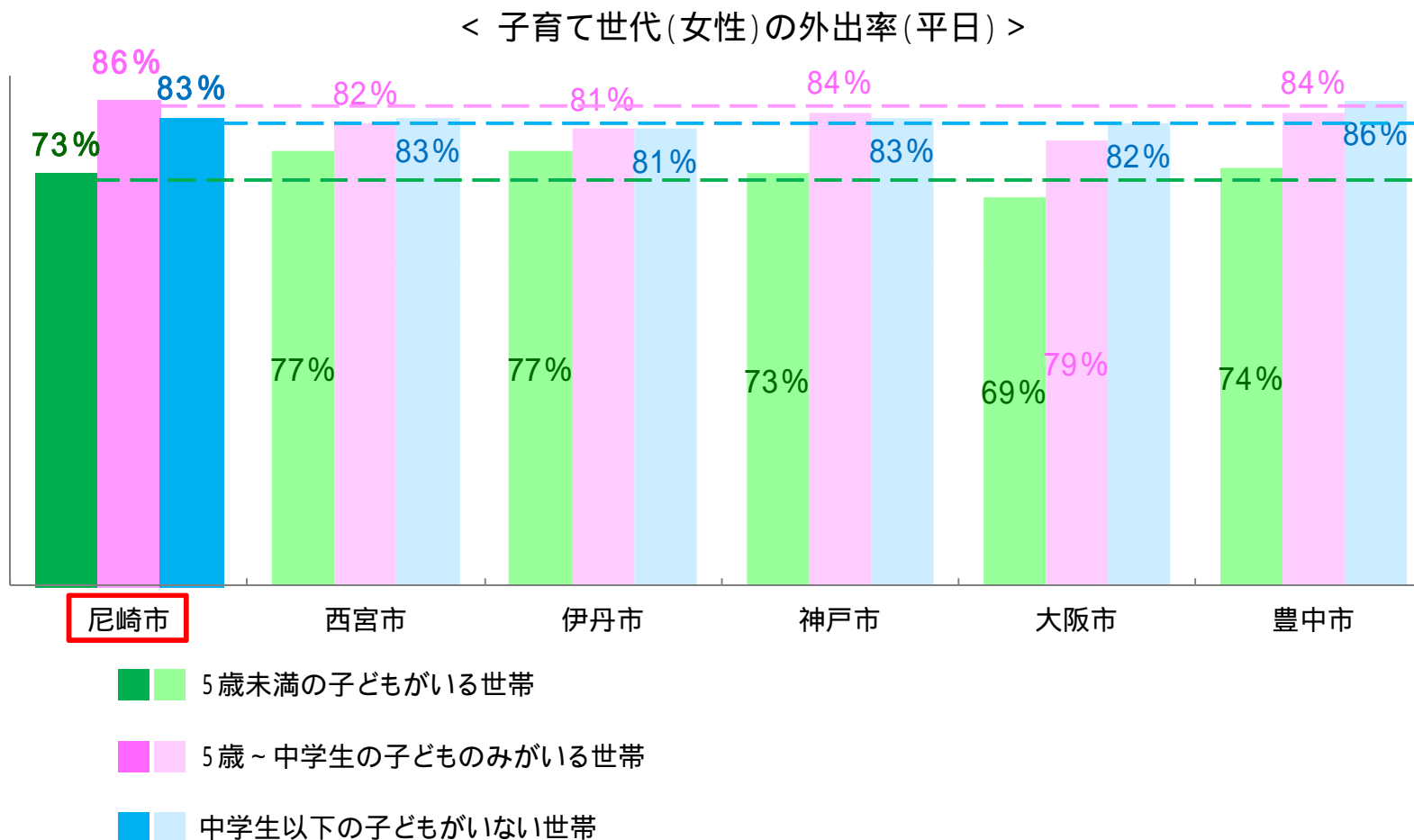
- 中学生以下の子どもがいる人は、子どもがいない人より生成原単位が高い。
- 尼崎市では、5歳未満の子どもがいる人の生成原単位が近隣他都市に比べて低い。



(2) パーソントリップ調査結果からみる子育て世代の移動特性

外出率の近隣市との比較

- ・ 尼崎市の5歳未満の子どもがいる人の外出率は近隣他都市と比べて低い。



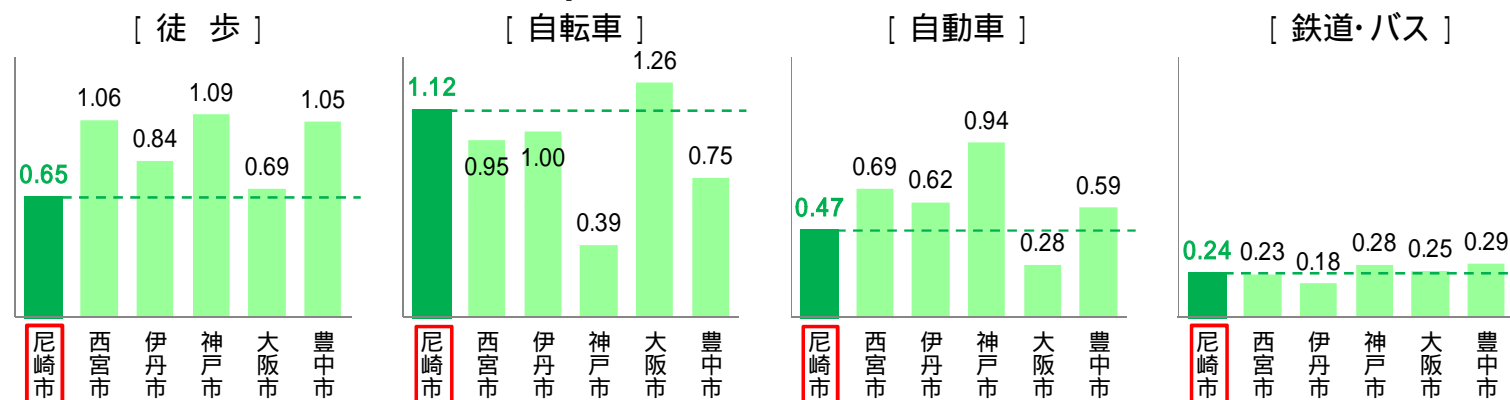
(2) パーソントリップ調査結果からみる子育て世代の移動特性

中学生以下の子どもがいる女性の移動手段

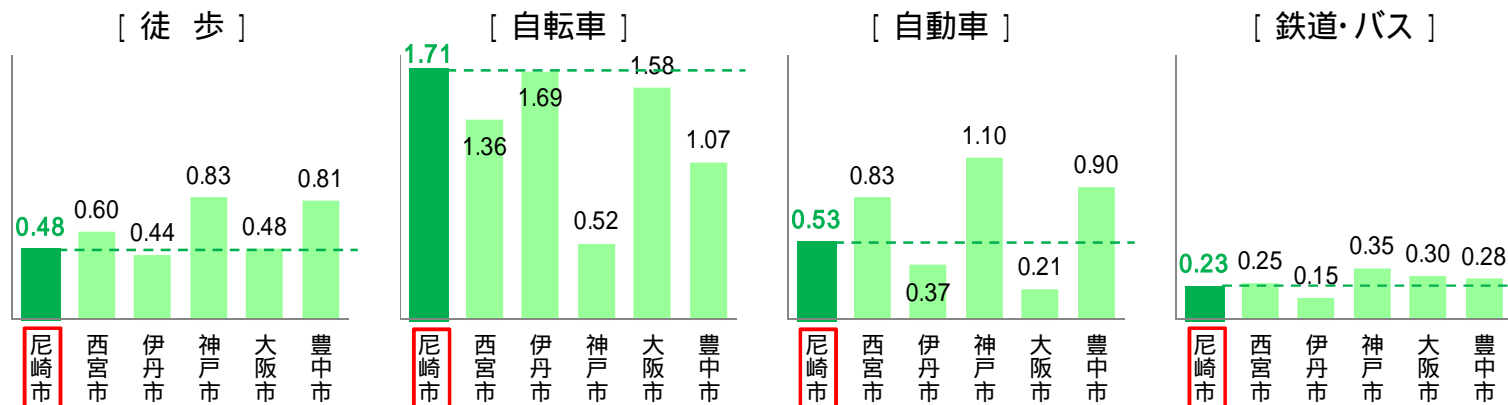
- 中学生以下の子どもがいる人は、近隣他都市に比べて徒歩や自動車利用が少なく、自転車利用が多い。
- 尼崎市は、平坦な地形であることから、自転車が利用しやすく、近距離移動では徒歩より自転車が多く利用されていると考えられる。

< 移動手段別生成原単位の比較 (平日) >

[5歳未満の子どもがいる世帯の女性]



[5歳～中学生以下の子どもがいる世帯の女性]



(2) パーソントリップ調査結果からみる子育て世代の移動特性

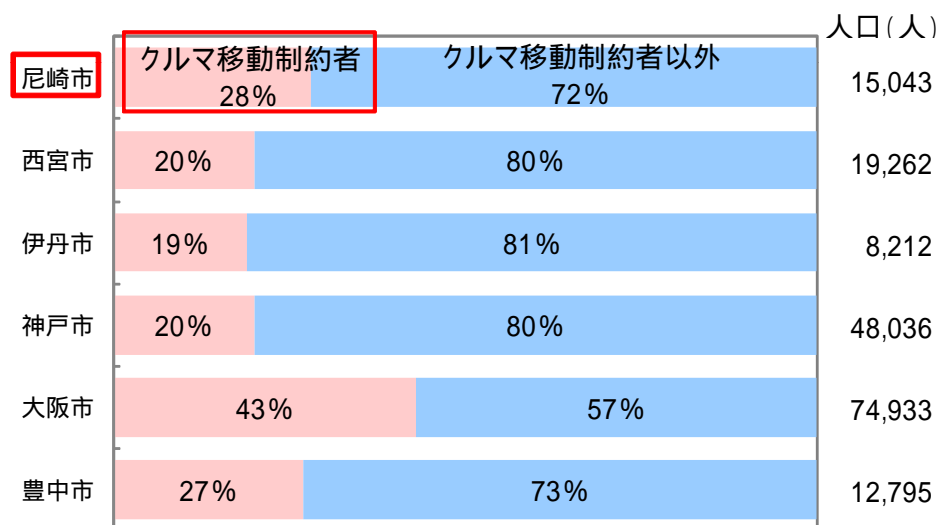
中学生以下の子どもがいる人の移動状況

- 中学生以下の子どもがいる女性は、近隣他都市に比べてクルマ移動制約者の割合が高く、自動車の生成原単位が低い原因のひとつとなっていると考えられる。

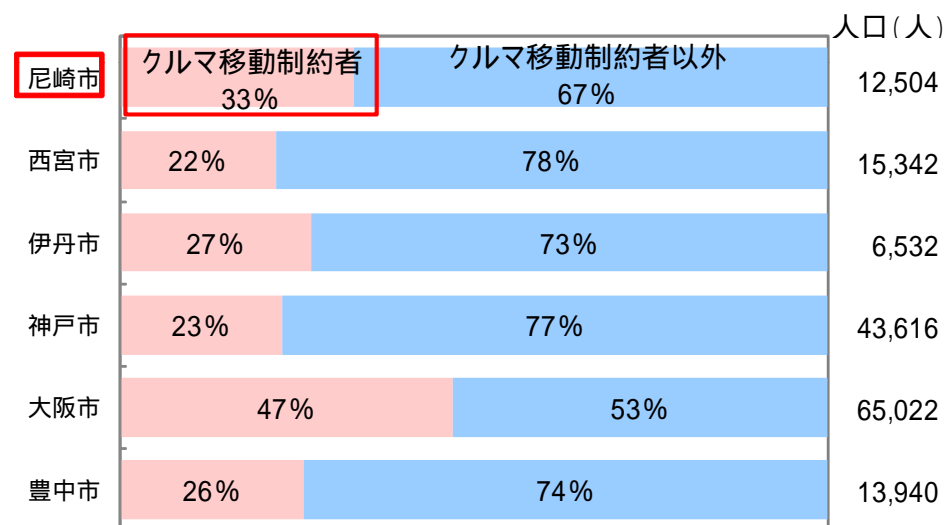
クルマ移動制約者：自動車運転免許をもっていない、または、世帯にクルマがない人。

< クルマ移動制約者割合の比較(平日) >

[5歳未満の子どもがいる世帯の女性]



[5歳～中学生以下の子どもがいる世帯の女性]



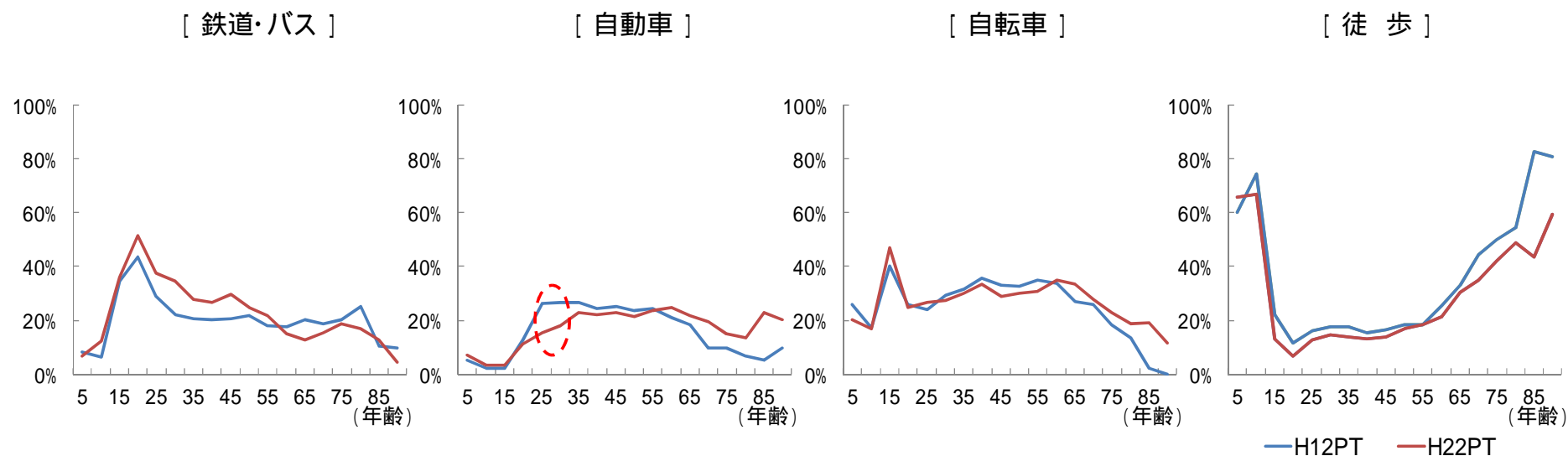
出典：第5回近畿圏パーソントリップ調査(H22)

(2) パーソントリップ調査結果からみる子育て世代の移動特性

移動手段分担率の推移(尼崎市生成量:男女計)

- 10年間で、20歳代～40歳代の自動車利用割合が減少し、鉄道・バス利用割合が増加。
- 特に20歳代～30歳代で自動車利用割合の減少が大きい。
- 移動手段として自動車を選択しない子育て世代は増加していくと考えられ、今後、公共交通の役割が更に大きくなると考えられる。

< 年齢別移動手段分担率の推移(男女計・平日) >



出典:第4回京阪神都市圏パーソントリップ調査(H12)・第5回近畿圏パーソントリップ調査(H22)

(3) 子育て世帯の転入・定住促進に向けた交通政策の方向性

中学生以下の子どもを持つ女性の移動実態

- ・利用の少ない徒歩
- ・多く利用されている自転車
- ・3割を占めるクルマ移動制約者

増加が予想される自動車を利用しない子育て世帯

尼崎市のイメージ

- ・良い印象：通勤・買い物が便利
- ・悪い印象：治安・マナー、大気などの環境

「尼崎市の住まいと暮らしに関するアンケート調査」

子育てに必要なもの

- ・子どもが安全に外で遊べる環境

「尼崎市の住まいと暮らしに関するアンケート調査」

・安全・快適な歩行や活動の空間

・多様な目的に対応した自転車利用環境

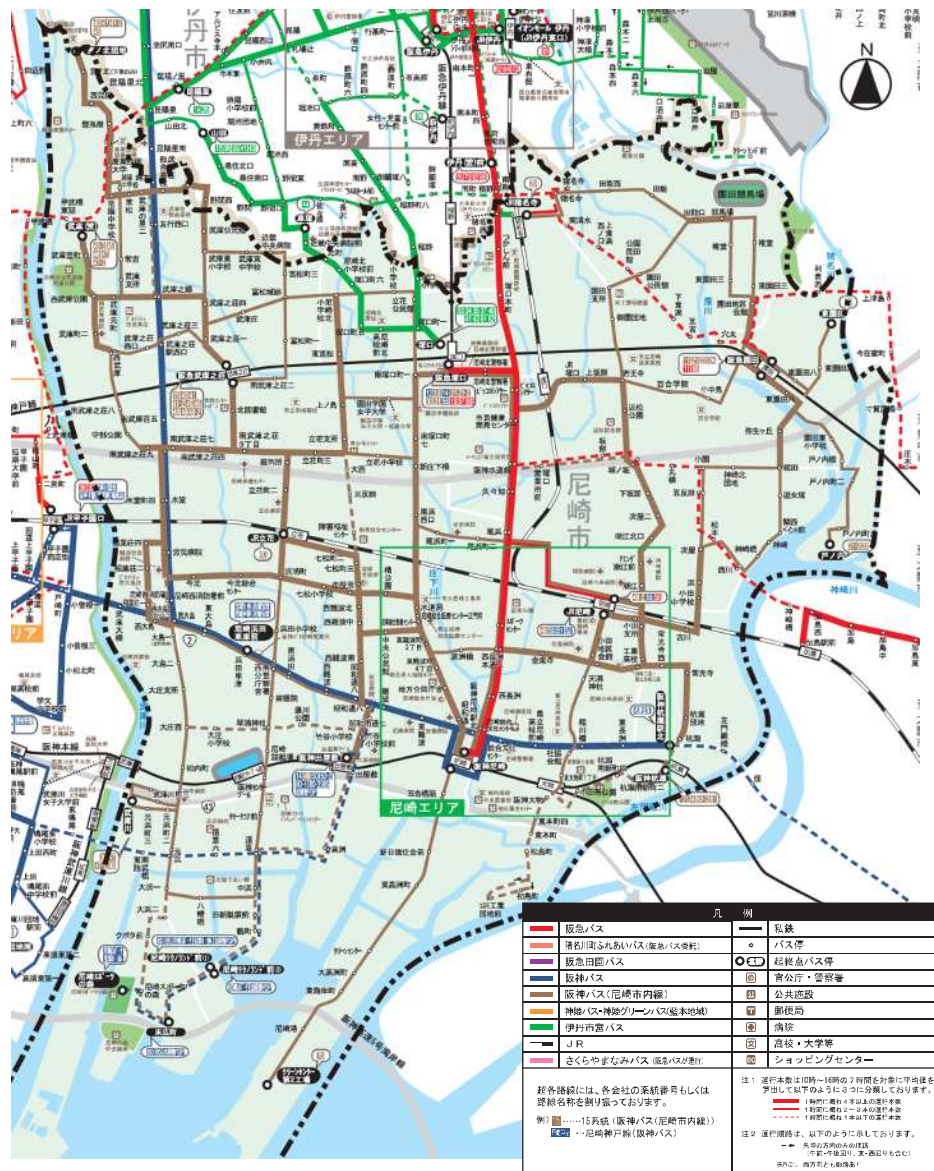
・円滑に移動できる公共交通

テーマ2:バスサービスの向上

(1) 路線バスの現状

路線網図

- 市内のバス路線は比較的充実しており、臨海部以外では運行本数も確保されている。



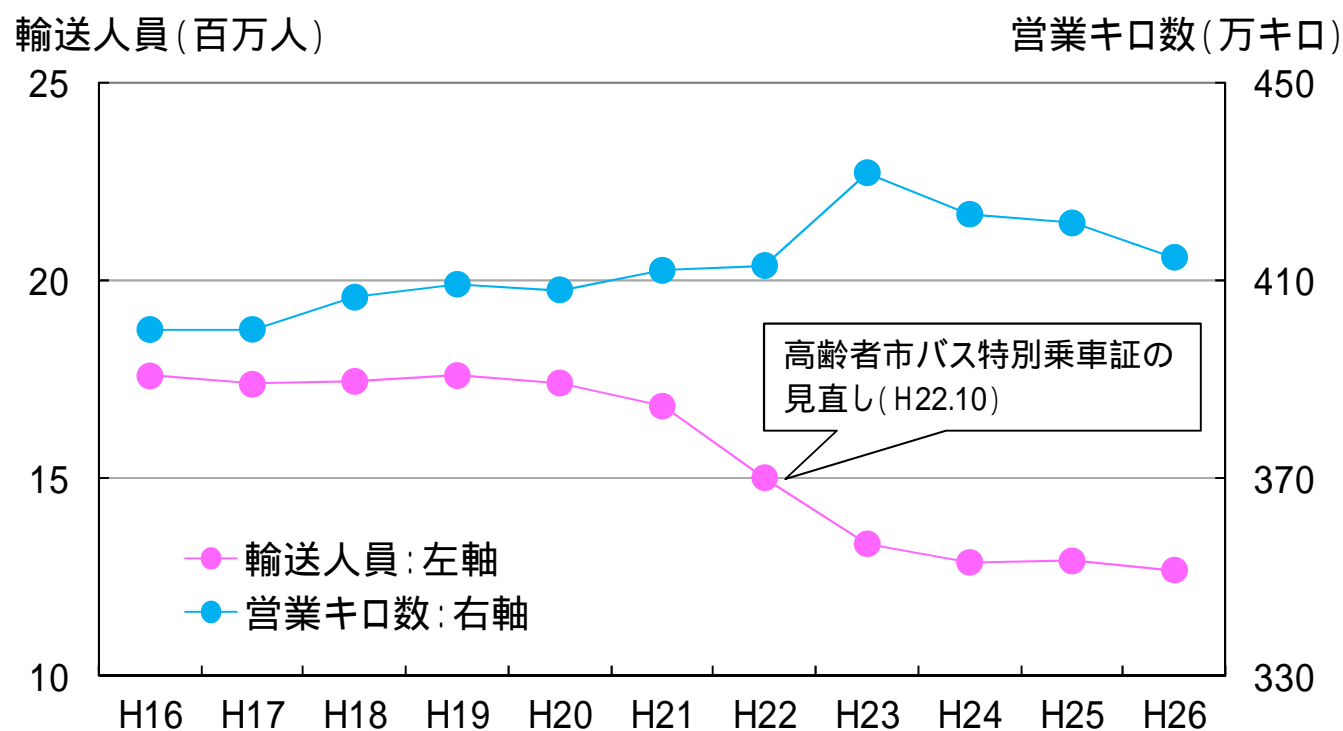
種別	路線番号	運行経路			キロ程(km)	運行本数 枝系統含む			
		起点	主な経由地	終点		平日	土曜	日祝	
幹線	11	阪急園田	若王子、JR尼崎	阪神尼崎	7.41	96	71	63	
	12	阪急塚口	JR塚口、若王子、JR尼崎	阪神杭瀬	7.26	74	68	62	
	13	阪急塚口	尾浜西口	阪神尼崎	4.25	141	116	106	
	14	阪急塚口	JR立花、市役所	阪神出屋敷	6.20	94	65	65	
	15	阪急武庫之荘	JR立花、市役所、中央公民館	阪神尼崎	5.46	123	91	85	
						528	411	381	
地域線	20	JR猪名寺	田能、阪急園田	東園田	5.31	57	53	53	
	21	阪急園田(21-2 戸ノ内)	園田支所、若王子、JR塚口	阪急塚口	6.58	77	69	67	
	22	阪急園田	園田支所、若王子、尾浜	阪神尼崎	8.37	54	36	34	
	23	戸ノ内	阪急園田、関西バイント前、JR尼崎	阪神尼崎	10.19	117	103	102	
	24	阪急園田	小園、JR尼崎、常光寺	阪神杭瀬	6.89	58	58	56	
	30	阪急塚口	尼崎北小学校、JR立花、リサーチコア前	武庫川	10.34	66	41	41	
	31	阪急塚口	尼崎北小学校、市役所	阪神尼崎	6.91	17	16	16	
	40	宮ノ北団地	常陽中学校、時友	阪急武庫之荘	4.06	113	84	75	
	41	宮ノ北団地	武庫支所、(41-2 友行西口)、武庫之郷	阪急武庫之荘	4.03	99	65	61	
	43	宮ノ北団地(43-2 武庫営業所)	常松、近畿中央病院、阪急武庫之荘、労災病院、JR立花、市役所	阪神尼崎	12.78	59	58	52	
	45	武庫営業所	武庫之郷	阪急武庫之荘	2.40	145	115	107	
	46	武庫営業所	西武庫	阪急武庫之荘	2.46	89	66	62	
	47	武庫営業所	西武庫、阪急武庫之荘、JR立花、(47-2 労災病院)、大庄支所	武庫川	9.89	58	57	53	
	48	阪急武庫之荘	立花支所、尾浜西口、尾浜町2丁目、JR尼崎	JR尼崎(48-2 JR尼崎(北))	7.92	50	35	28	
	49	阪急武庫之荘	労災病院、JR立花、市役所	阪神出屋敷	6.89	55	39	30	
	50	JR尼崎(50-2 阪神杭瀬)	市役所、JR立花、労災病院	阪神出屋敷	9.96	58	58	57	
	51	JR尼崎	県立尼崎病院、小田南公園	阪神杭瀬	3.25	14	14	14	
	52	JR尼崎	県立尼崎病院、コスモ工業団地	JR尼崎	6.39	20	15	14	
	58	阪急塚口	阪神水道前、尾浜	JR尼崎	3.60	28	20	20	
	60	JR立花	阪神センタープール、リサーチコア前、中浜	未広町	5.35	8	0	0	
70	阪神尼崎	新日鋼住金前、クリーンセンター	クリーンセンター第2工場	3.97	0	0	2		
80	阪神出屋敷	中浜、八幡橋、武庫川、琴浦神社	阪神出屋敷	7.80	41	33	33		
85	阪神出屋敷	高洲、中浜	未広町	4.06	4	0	0		
90	武庫川	大浜1丁目、未広町	尼崎テクノランド前	3.87	2	2	0		
合 計						1,289	1,037	977	
						1,817	1,448	1,358	

(1) 路線バスの現状

輸送人員の推移

- (旧)尼崎市営バスの事業量は、概ね横ばい傾向にあったが、高齢者市バス特別乗車証の見直し(H22.10)などもあり、輸送人員は減少傾向で推移している。

< (旧)尼崎市バス年間輸送人員の推移 >



出典: 尼崎市資料

(1) 路線バスの現状

経営状況

- (旧)尼崎市営バスの29路線中22路線が赤字となっている。

種別	路線番号	運行経路			キロ程 (km)	平成26 年度	平成25 年度	
		起点	主な経由地	終点		営業係数	輸送人員 (千人)	
幹 線	11	阪急園田	若王子、JR尼崎	阪神尼崎	7.41	98	940	
	12	阪急塚口	JR塚口、若王子、JR尼崎	阪神杭瀬	7.26	138	553	
	13	阪急塚口	尾浜西口	阪神尼崎	4.25	80	1009	
	14	阪急塚口	JR立花、市役所	阪神出屋敷	6.20	133	589	
	15	阪急武庫之荘	JR立花、市役所、中央公民館	阪神尼崎	5.46	91	1006	
					102	4097		
地 域 線	20	JR猪名寺	田能、阪急園田	東園田	5.31	176	242	
	21	阪急園田 (21-2 戸ノ内)	園田支所、若王子、JR塚口	阪急塚口	6.58	127	603	
	22	阪急園田	園田支所、若王子、尾浜	阪神尼崎	8.37	124	418	
	23	戸ノ内	阪急園田、関西ベント前、JR尼崎	阪神尼崎	10.19	108	1006	
	24	阪急園田	小園、JR尼崎、常光寺	阪神杭瀬	6.89	115	503	
	30	阪急塚口	尼崎北小学校、JR立花、リサーチコア前	武庫川	10.34	191	400	
	31	阪急塚口	尼崎北小学校、市役所	阪神尼崎	6.91	129	128	
	40	宮ノ北団地	常陽中学校、時友	阪急武庫之荘	4.06	82	761	
	41	宮ノ北団地	武庫支所、(41-2 友行西口)、武庫之郷	阪急武庫之荘	4.03	85	645	
	43	宮ノ北団地 (43-2 武庫営業所)	常松、近畿中央病院、阪急武庫之荘、労災病院、JR立花、市役所	阪神尼崎	12.78	140	703	
	45	武庫営業所	武庫之郷	阪急武庫之荘	2.40	67	749	
	46	武庫営業所	西武庫	阪急武庫之荘	2.46	73	433	
	47	武庫営業所	西武庫、阪急武庫之荘、JR立花、(47-2 労災病院)、大庄支所	武庫川	9.89	191	427	
	48	阪急武庫之荘	立花支所、尾浜西口、尾浜町2丁目、JR尼崎	JR尼崎 (48-2 JR尼崎(北))	7.92	184	260	
	49	阪急武庫之荘	労災病院、JR立花、市役所	阪神出屋敷	6.89	100	486	
	50	JR尼崎 (50-2 阪神杭瀬)	市役所、JR立花、労災病院	阪神出屋敷	9.96	164	550	
	51	JR尼崎	県立尼崎病院、小田南公園	阪神杭瀬	3.25	123	52	
	52	JR尼崎	県立尼崎病院、コスモ工業団地	JR尼崎	6.39	126	141	
	58	阪急塚口	阪神水道前、尾浜	JR尼崎	3.60	111	111	
	60	JR立花	阪神センタープール、リサーチコア前、中浜	末広町	5.35	108	92	
	70	阪神尼崎	新日鐵住金前、クリーンセンター	クリーンセンター第2工場	3.97	452	2	
	80	阪神出屋敷	中浜、八幡橋、武庫川、琴浦神社	阪神出屋敷	7.80	448	66	
	85	阪神出屋敷	高洲、中浜	末広町	4.06	136	24	
	90	武庫川	大浜1丁目、末広町	尼崎テクノランド前	3.87	278	3	
						124	8,805	
	合 計						117	12,902

(1) 路線バスの現状

尼崎市営バスの民間移譲

- 平成28年3月20日(日)から、移譲事業者である阪神バスが運行開始。
- 3年間は、現状のサービスレベルが維持(又は向上)されるものの、4年目以降のバスサービスの維持・向上が課題となる。

【 移譲後のサービス内容等 】

路線・ダイヤ

- 移譲時点における路線・ダイヤの**3年間**の維持
- 一部路線の始終発時刻の拡大等の実施

乗車料制度

- 移譲時点における乗車料制度の**3年間**の維持
- IC化等利便性向上
- 尼崎特区の設定

不採算路線への対応

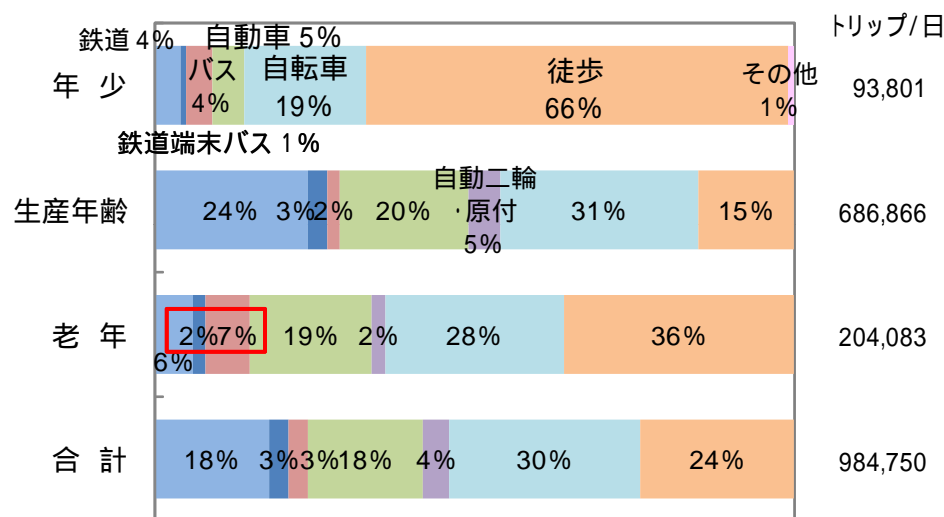
- 移譲後**3年間**は、移譲路線のうち、経費削減や利用促進等経営努力をもってしても経営収支が赤字と見込まれる路線を対象に、運行確保に向けた補助金を予算の範囲内で交付し不採算路線の運行確保に努める。

(2) パーソントリップ調査結果からみるバス利用者特性

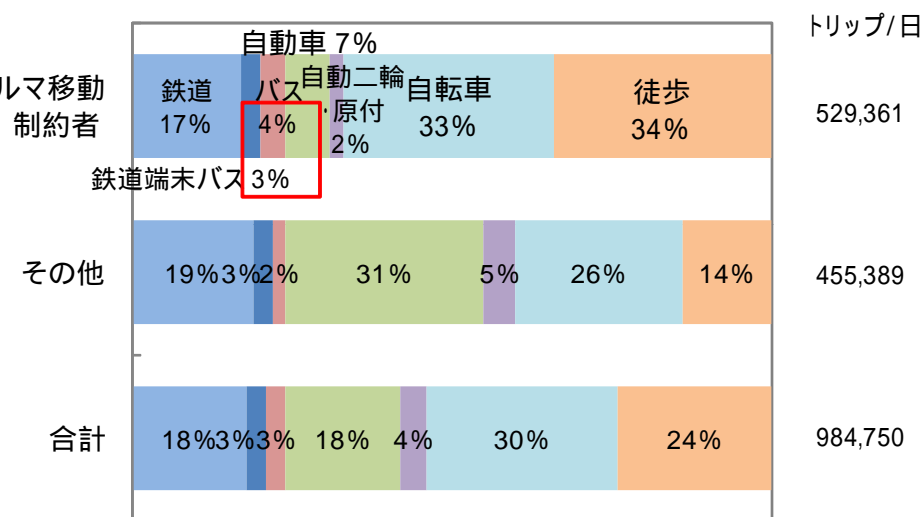
路線バスの利用者特性

- バスは、高齢者やクルマ移動制約者に多く利用されており、高齢者やクルマ移動制約者の移動手段や外出支援としての役割を担っている。

< 年齢別代表交通手段 >



< クルマ移動制約者の代表交通手段 >



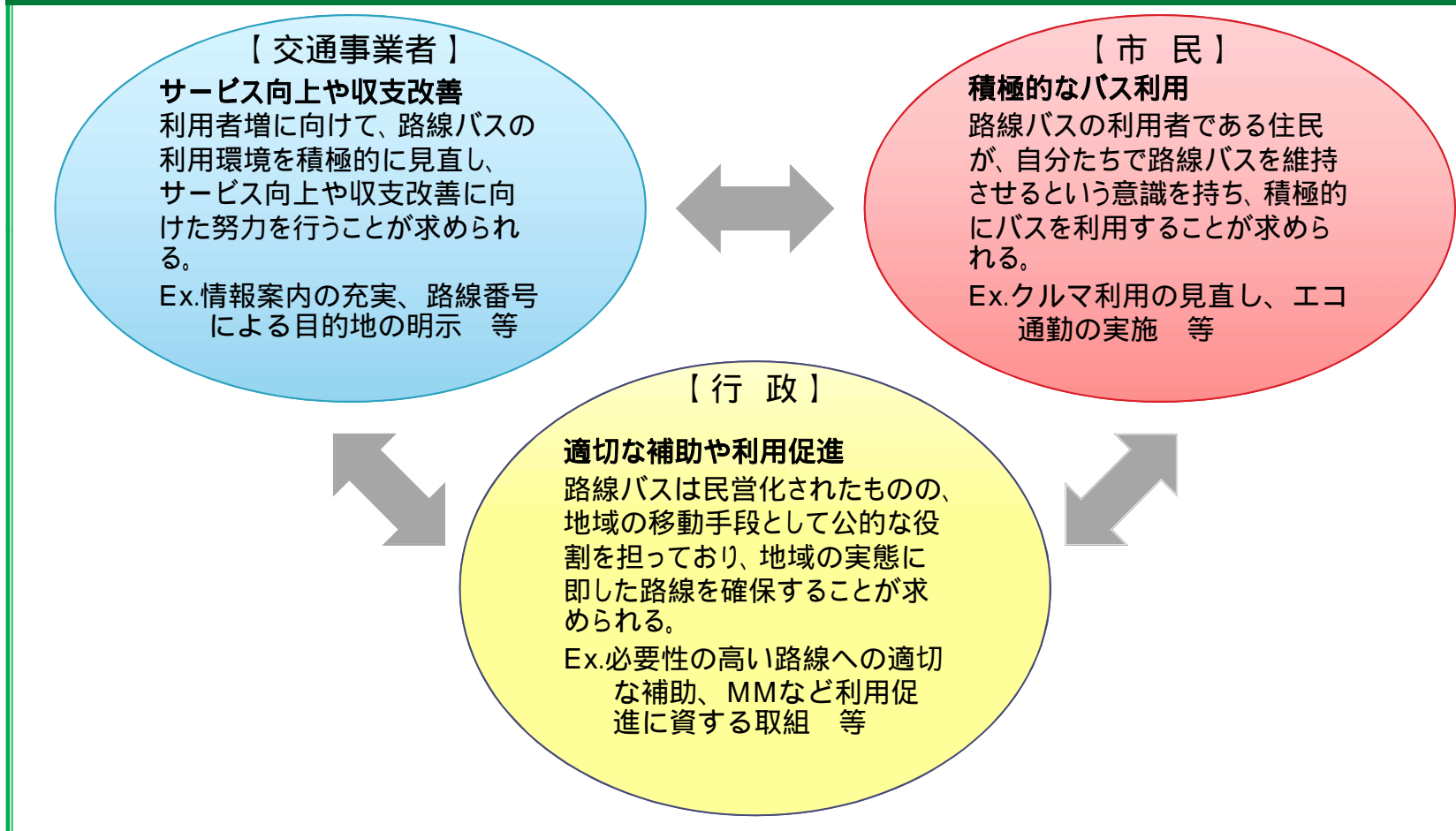
出典：第5回近畿圏パーソントリップ調査(H22)

(3) バスサービスの向上に向けた交通政策の方向性

- ・利用者減少傾向の中での民営化後4年目以降のバスサービスの維持・向上
- ・高齢者や移動制約者の交通手段として利用されている路線バスサービス



さらなる3者の連携強化が必要



(4) バスサービスの利用促進に向けた取り組み

- ・バスサービスの利用促進に向けた取り組みとして、今年度、学校MMを実施。
- ・一定期間後にアンケート調査を行い、交通行動の変化を把握する。

【MM(モビリティ・マネジメント)とは】

- ・ひとり1人のモビリティ(移動)が、過度な自動車利用から、公共交通・自転車等を適切に利用する等、社会的にも個人的にも望ましい方向に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通施策。

【学校MMの効果】

- ・成人した後も環境や健康に配慮した交通行動を期待できる。
- ・学童が家庭で学校MMについての話をすることで、保護者もMMの対象となる。

【学校MM事例】

[尼崎市での「1日バス教室」]

小学生が車いすでのバスの乗り降りを体験



立花西小学校での「1日バス教室」



出典：(旧)尼崎市交通局ホームページ

その他検討項目：観光

(1) 観光施設とアクセス状況

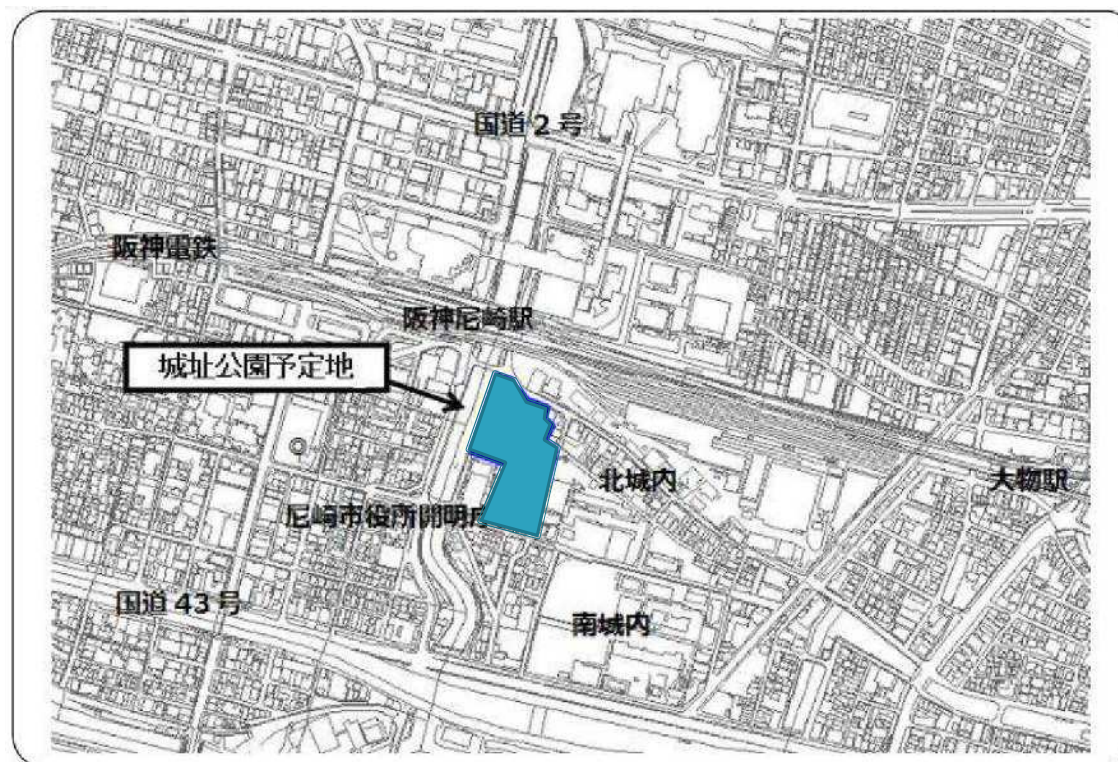
【観光施設位置図及びアクセス方法】



記念公園	大規模なベイコム総合体育館・陸上競技場・野球場やテニスコート等を備えた総合運動公園。
ビッコロシアター	大中小3つのホール、展示室、演劇に関する書籍を所蔵する資料室。
白髪一雄記念室	足で絵を描くアクション・ペインティングで有名な尼崎出身の画家・白髪一雄氏を紹介した記念室。
寺町	尼崎城の城下町を整備するにあたり、領内の寺院を1ヶ所に集めてできたまち並み。
武庫川コスモス園	地元ボランティアらの活動による武庫川河川敷一面のコスモス公園。
近松の里	近松が執筆を行ったという廣濟寺周辺。ゆかりの品を収めた近松記念館や国指定史跡の「近松の墓」などがある。
元浜緑地	季節の花が一年中楽しめる公園。水あそびができるわんぱく池がある。
尼信会館・世界の貯金箱博物館	尼信会館には、「城下町尼崎展」、コーナーや世界各国の金・銀貨の展示。世界の貯金箱博物館では62カ国、13,000点の貯金箱が収蔵。
田能遺跡	弥生時代の暮らしを見学できる遺跡。
文化財収蔵庫	市内で出土した土器や尼崎城に関する資料等を展示。
尼ロック(尼崎閘門)	国内最大規模のパナマ運河方式の閘門。
魚つり公園	武庫川河口にある栈橋スタイルのつり公園。
エーデルワイスミュージアム	数百年前に、実際に使われていたヨーロッパの製菓道具や洋菓子文化の資料など約3,000点を展示する企業ミュージアム。
音羽電機工業(株)雷テクノロジーセンター	雷対策製品の試験や研究を目的とした施設。
あましんアルカイックホール	1,820人収容の大ホールから250人の小ホールまで3つのホール。
尼崎スポーツの森	屋内プールやフィットネス、ウォーターパーク、グランドゴルフ、アイススケートなどの施設を備えた西日本最大級の複合スポーツ施設。
尼崎城址公園	かつて尼崎城があった場所に、石垣の城壁や日本庭園風の植栽、石畳の遊歩道を整備。尼崎城が建設予定。

(2) 新たな観光拠点について

- 尼崎市では、市制100周年を契機として、寺町とともに歴史文化ゾーンを構成する城内地区に残された歴史・文化資源を活かすことで都市の魅力の向上と、交流人口の増加をめざすとともに、歴史文化という新たな都市イメージを付加することで、市民のまちに対する誇りや愛着の醸成につなげる都市再生整備計画を策定し、整備を進めようとしている。
- その中において、株式会社ミドリ電化の創業者から創業の地である尼崎市において尼崎城を建設し、尼崎市に寄付する意向が示された。



参 考 资 料

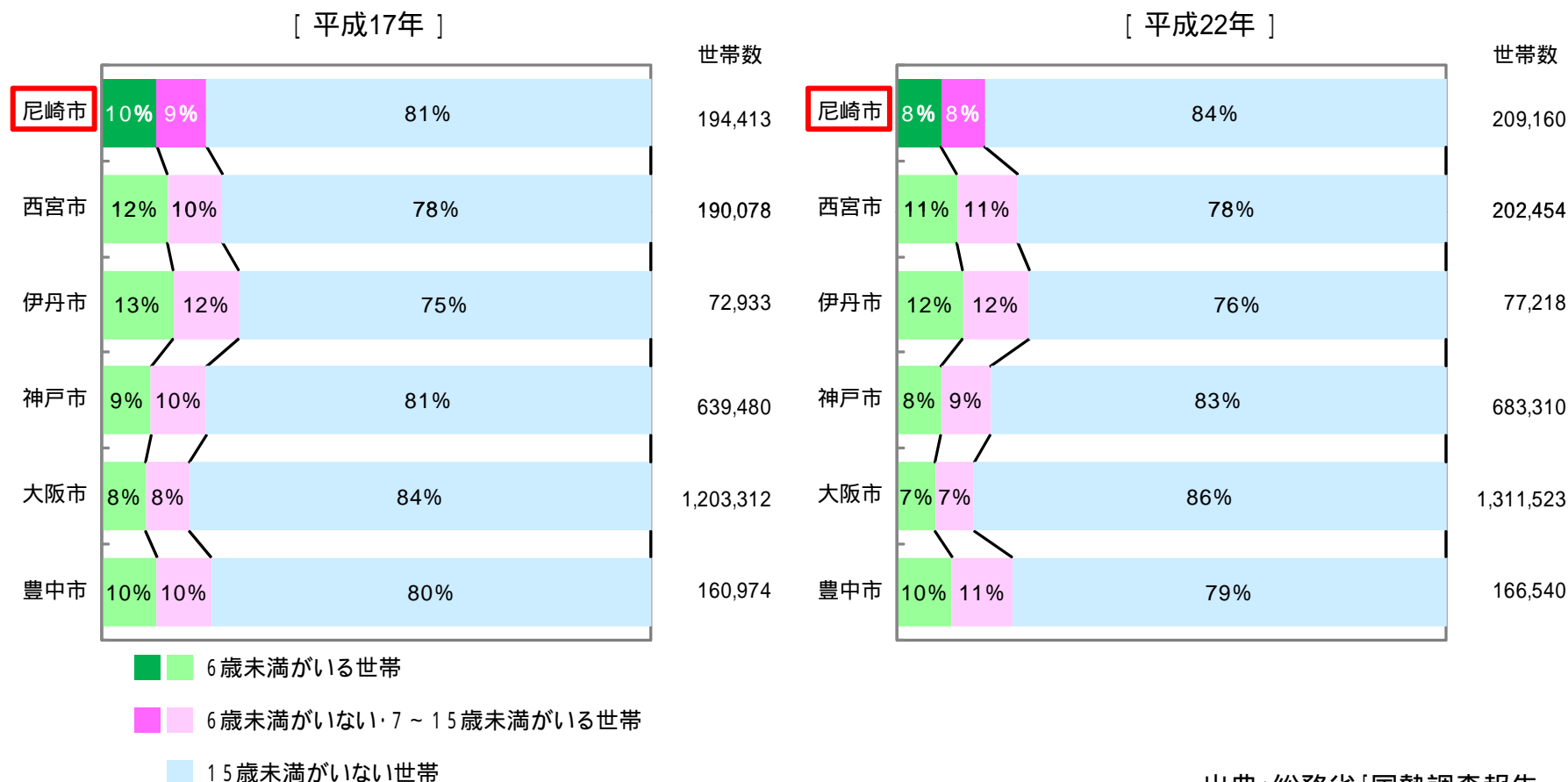


(1) 子育て世帯の現状

【子育て世帯の割合】

- 平成22年の尼崎市の子育て世帯の割合は全世帯の16%となっている。
- 15歳未満のいる世帯の割合は、大阪市を除いて近隣他都市より低い。
- 5年間での子育て世帯の減少割合が、近隣他都市より大きい。

< 子育て世帯の割合 >



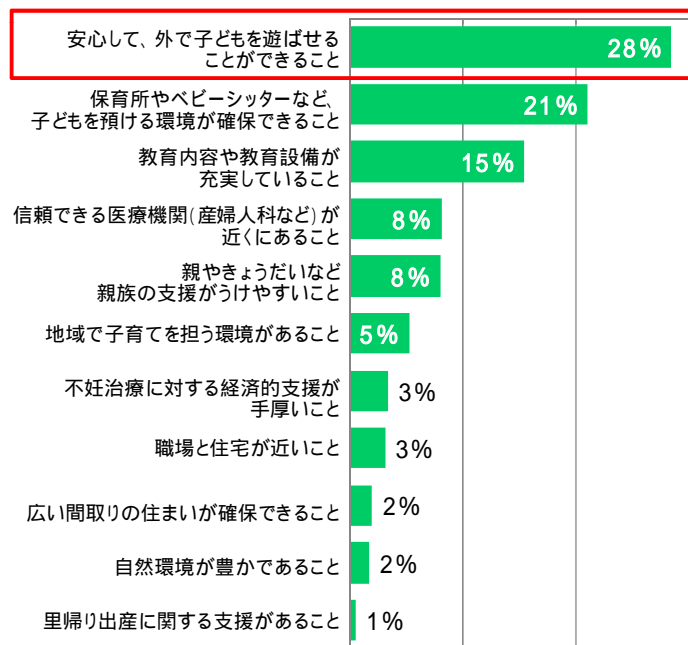
出典：総務省「国勢調査報告」

(1) 子育て世帯の現状

【アンケート調査結果からみた子育て世帯の尼崎市の印象】

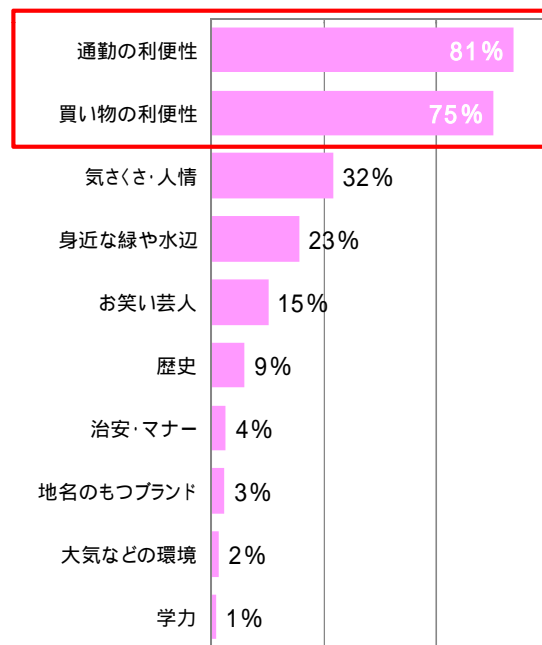
- これから子どもを持つことが予想される若年夫婦世帯や中学生以下の子どもを持つ子育て世帯では、“理想の子どもを産み、育てる場所として、尼崎市に最も必要なもの”として、「安心して、外で子どもを遊ばせることができること」を最も多く回答している。
- “尼崎市のよい印象”は、「通勤の利便性」「買い物の利便性」が8割、“尼崎市の悪い印象”は、「治安・マナー」が7割でいずれも際だって多い。

< 理想の子どもを産み、育てる場所として
尼崎市に最も必要なもの >

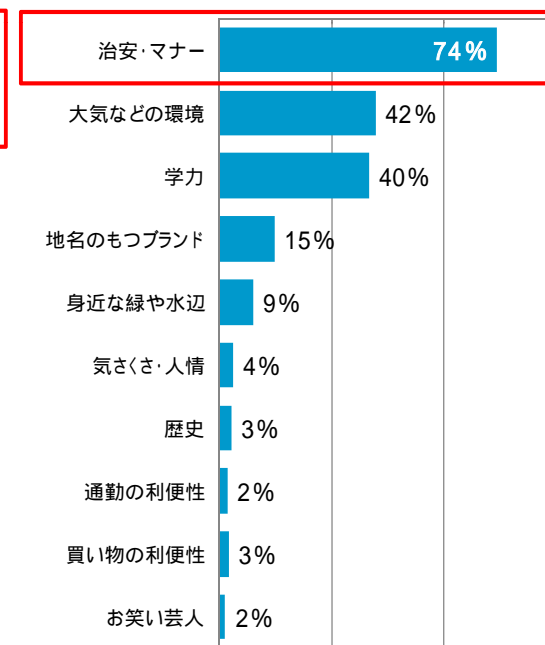


< 現時点での尼崎市の印象(複数回答) >

[よい印象]



[悪い印象]



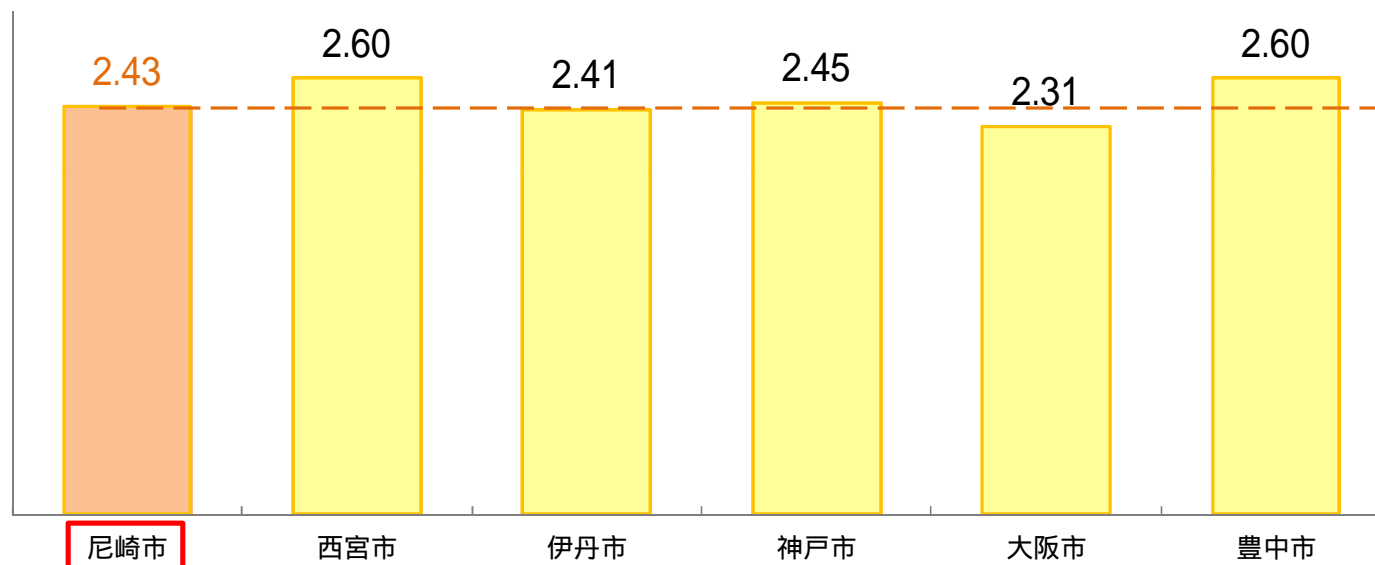
出典:「尼崎市の住まいと暮らしに関するアンケート調査」結果(平成27年度)

(2) パーソントリップ調査結果からみる20～49歳 女性の移動特性

【20～49歳 女性の生成原単位】

- 20～49歳 女性の生成原単位は、近隣他都市との大きな差はみられない。

< 20～49歳 女性の生成原単位(平日) >



出典: 第5回近畿圏パーソントリップ調査(H22)

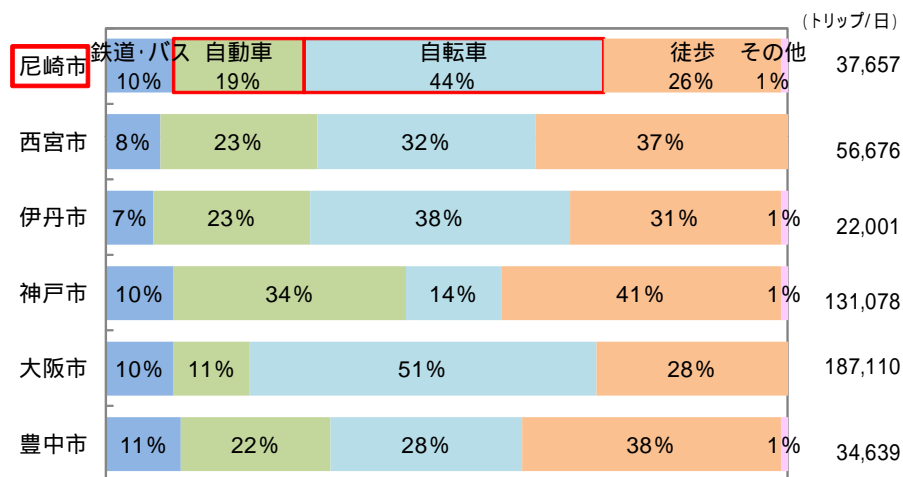
(2) パーソントリップ調査結果からみる子育て世代の移動特性

【中学生以下の子どもがいる世代の代表交通手段】

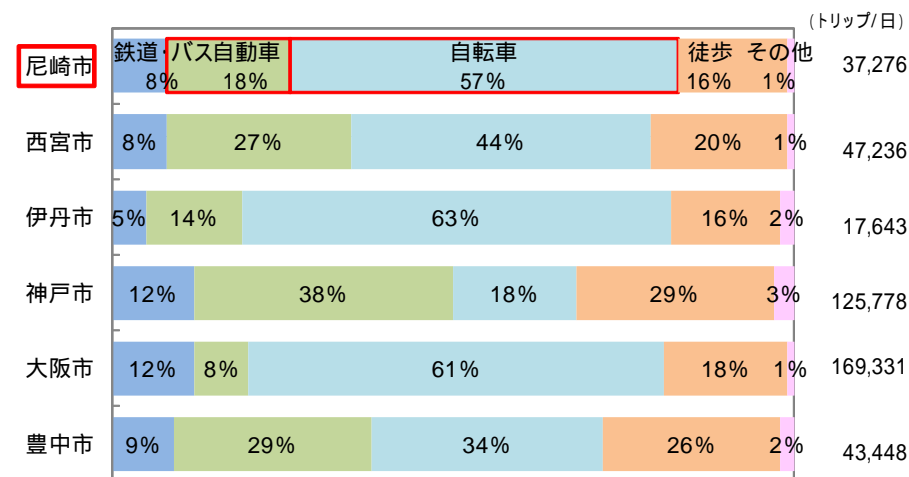
- 手段分担率で見ても、尼崎市は近隣他都市と比べて、自転車利用が約4～6割と多く、自動車利用は約2割と少ない。

< 代表交通手段分担率(生成量)の比較(平日) >

[5歳未満の子どもがいる世帯の女性]



[5歳～中学生以下の子どもがいる世帯の女性]

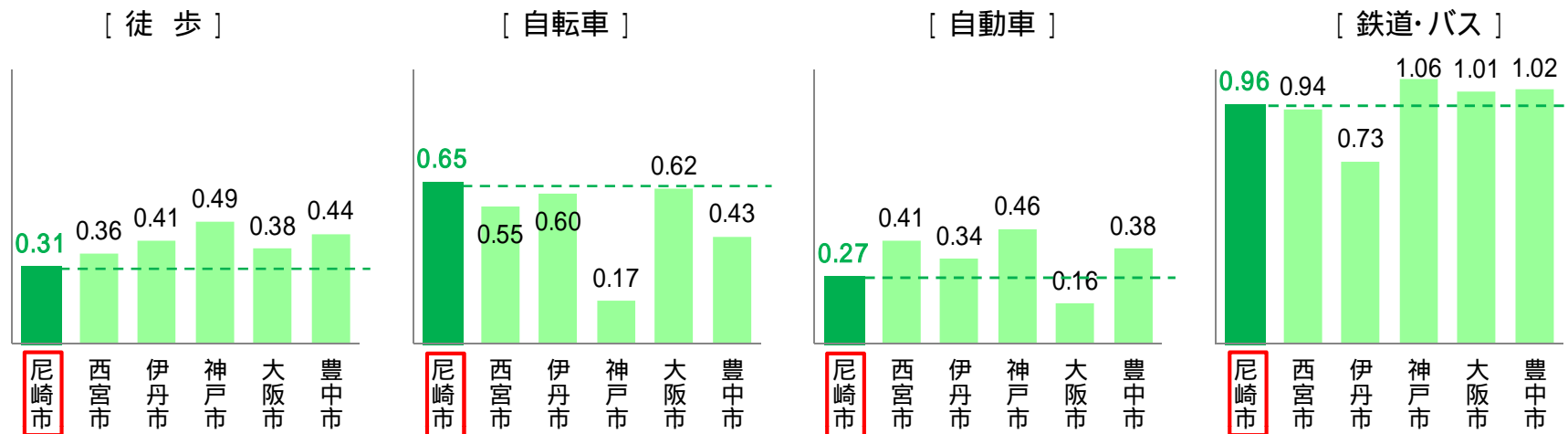


出典：第5回近畿圏パーソントリップ調査(H22)

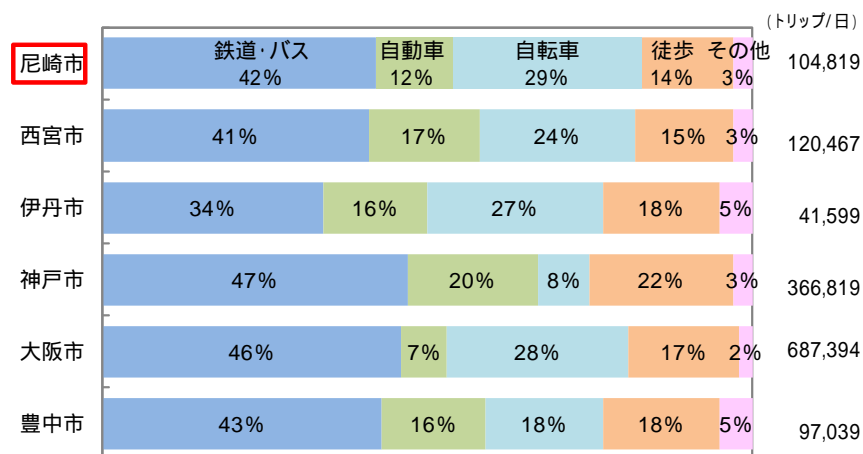
(2) パーソントリップ調査結果からみる子育て世代の移動特性

参考：中学生以下の子どもがいない世帯の移動状況(女性・平日)

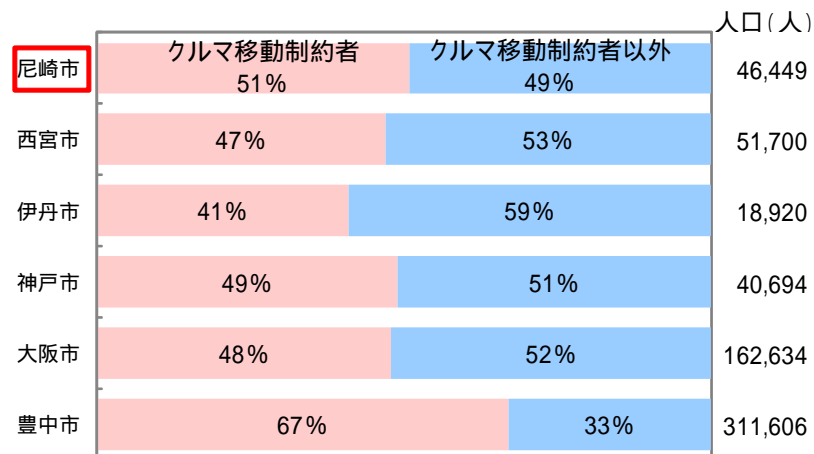
[移動手段別生成原単位]



[代表交通手段分担率(生成量)]



[クルマ移動制約者割合]



出典：第5回近畿圏パーソントリップ調査(H22)